

県外派遣報告書

栃木県バスケットボール協会

| | | | |
|----------------|---------------------|------|-------------------------|
| 大会名 | 第50回 全国ミニバスケットボール大会 | 開催地 | 群馬県高崎市 高崎アリーナ |
| 報告者名 (所属連盟) | 赤羽沙耶 新島薫 (ミニ連) | 派遣期間 | 平成 31 年 3 月 27 日 ~ 30 日 |

【審判会議内容】

座学研修 講義『2POメカニクス』 漆間大吾氏

○約束事

- ・ Proactive (積極的に)
- ・ No excuse (言い訳をしない)
- ・ Tell it like it is (思ったことは伝える)
- ・ Respect each other (お互いをリスペクトする)

We will never stop evolving. 進化を止めない。

メカニクスやルールは変わっていく。

レフェリーも常に進化することをやめない。

○レフェリーにとって大切なこと

- ・ Strong (強さ)
- ・ Decisive (決断力)
- ・ Approachable (親しみやすさ)

《2POメカニクス》

create open angle オープンアングルをつくる

- ・ 見えないものを見ようとすると間違える。
- ・ 間違いをなくすために…アングルを探す、足を運ぶ。
- ・ 感性だけに頼らない。

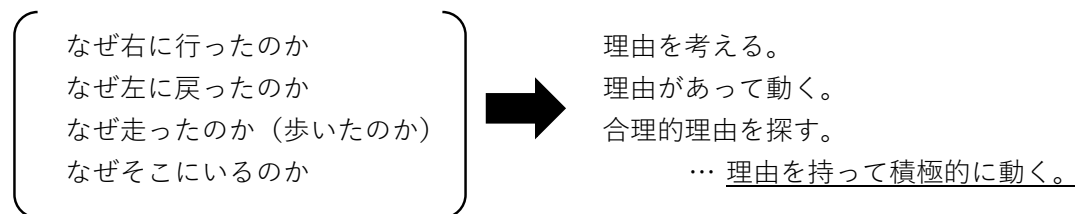
○トレイル

- ・ ワーキングエリア内で積極的に動く。
- ・ 合理的にポジションアジャストを行う。

○リード

- ・ 合理的理由があるのであれば積極的にスイッチサイドへ。
- ・ 合理的理由があるのであればスイッチの際に走ることも。
- ・ 広い視野でプレイを見ること。

○まとめ



映像研修 渡邊諭氏

二日目全試合終了後、研修ゲームの映像を使い映像研修を行った。

積極的に動き判定判断をすること、アングルの取り方、プライマリーの理解等、映像を見ながら分かりやすく解説していただいた。

県外派遣 審判ミーティング記録表

報告者名 赤羽 沙耶

| | | | | |
|---|----------------|------|------------|-------|
| 割当日 | 平成31年 3月 28日 | 相手審判 | (副) 菅原 寛 | 所属 宮城 |
| カード | (男子) 京都府 - 福岡県 | | | |
| ◇ ミーティングの内容 | | | | |
| <p>両エースに対するファールをどう判定していくかがこのゲームのポイント。前半、基準を示そうと二人で手や体の当て方について細かく吹いたが伝わらず、プレイを笛で止めてはしまう場面が何度かあった。後半はマージナルの範囲を広げたことで、ゲームにマッチさせることができていた。</p> | | | | |
| 《審判主任》 田中 慎也 (福岡) | | | | |
| 割当日 | 平成31年 3月 29日 | 相手審判 | (副) 高谷 文也 | 所属 奈良 |
| カード | (男子) 広島県 - 沖縄県 | | | |
| ◇ ミーティングの内容 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・無駄なものを吹かず、スムーズにゲームを進められていた。 ・タイムアウトを請求するタイミングが少し遅かった時があったので確認する。 | | | | |
| 《審判主任》 佐藤 陽子 (北海道) | | | | |
| 割当日 | 平成31年 3月 30日 | 相手審判 | (副) 金築 美智子 | 所属 島根 |
| カード | (女子) 岐阜県 - 高知県 | | | |
| ◇ ミーティングの内容 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ボール運びの際、二人の間で起きるものについてもっと判定をする。 ・インテグリティ (プレイヤーに対する暴言等)。 <p>ベンチの対応をどうするか。もっと早めに気づき気を配るべき。</p> | | | | |
| 《審判主任》 鈴木 里美 (福島) | | | | |

【感想・県内審判員へ伝達したいこと】

B級1年目から毎年参加させていただき、今大会で4度目の参加となりました。また大会の規定により、今回で最後の大会となりました。毎回大きな課題を与えてくれ、独特の雰囲気があるこの大会に参加することが毎年楽しみで、今回で最後となると感慨深いものがありました。この4年間で出会えた全国の仲間に感謝をすると共にまたどこかで出会えることを願っています。

大会3日間とも2POでの実施しました。講義であった通り積極的に動くことを意識して臨みました。リードはセットアップポジション、クローズダウンの動きを多く行うことによって、スイッチサイドへ行く機会も増やし、判定・判断できたのではないかと思います。やはり2POは3POとは違い、積極的に動き、ポジションアジャストを行わなくては良い判定や判断ができないと強く感じました。今後もプレイヤーのために積極的に動くことを意識して取り組んでいこうと思います。

最後になりますが今回の派遣に際しましてご配慮いただきました渡邊諭審判長をはじめ県内審判員、大会関係者各位に感謝申し上げます。

県外派遣 審判ミーティング記録表

報告者名 新島 薫

| | | | | | |
|--|----------------|------|------------|----|----|
| 割当日 | 平成31年 3月 28日 | 相手審判 | (主) 坂井 佑季子 | 所属 | 本部 |
| カード | (女子) 京都府 - 青森県 | | | | |
| ◇ ミーティングの内容 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・青森の足のゆるみ、手の使い方が気になる。早めに対応できていた。 ・マンツーマンペナルティが出た時の処置。もう少しスムーズにCCがコーチとMCとの話の間で誰にフリースローを打たせるか確認し、準備しておくこと。 ・自信を持って判定する。 | | | | | |
| 《審判主任》 苗村 幸弘 (滋賀) | | | | | |
| 割当日 | 平成31年 3月 29日 | 相手審判 | (主) 寺西 正裕 | 所属 | 京都 |
| カード | (男子) 長野県 - 愛知県 | | | | |
| ◇ ミーティングの内容 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・トレイルの位置が二人とも高い。展開することを予測して下りる。 ・3番エリアから4番エリアへの受け渡しをしリードがしっかりジャストで判定できていた。 ・スイッチサイドへもう少し見に行っても良い。 ・セットアップポジションからクローズダウンの動きを沢山していて良い。 | | | | | |
| 《審判主任》 佐々木 浩貴 (長野) | | | | | |
| 割当日 | 平成31年 3月 30日 | 相手審判 | (主) 仲間 芳幸 | 所属 | 沖縄 |
| カード | (女子) 岩手県 - 山口県 | | | | |
| ◇ ミーティングの内容 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ベンチ管理をどうしていくか。 ・ベンチとプレイヤーといかにコミュニケーションをとるか。声掛け。 ・時間の管理も大事だが、コミュニケーションを沢山とる。 ・前半はとてもスムーズに自信を持ってゲームを進めることができていたが、3Qで岩手のディフェンスの当たりが強くなり、レフェリーのその流れに合わせてしまい慌ててしまっている。 ・一試合通して集中しゲームの流れを早い段階で掴むこと。 | | | | | |
| 《審判主任》 小林 亘 (新潟) | | | | | |

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】

今回初めて全国ミニバスケットボール大会に参加させて頂きました。大会を通じて、感じたのはコミュニケーションの取り方に工夫が必要ということです。レフリー同士、ベンチ、プレイヤーなどとのコミュニケーションの取り方やタイミング等を工夫することで、ゲームをスムーズに進めていくことにつながると感じました。また、まだまだ経験不足な面はありますが、自信を持ってゲームに臨めるようにすることも重要であることを学びました。

インテグリティに対する対応として、選手に対する暴力的行為および暴言に対してTFとすることが今大会で先行実施されました。また、TF 2個でミニでも失格退場にするという対応となります。大会が始まる前から大きく宣言し、ベンチもレフリーも深く考えさせられたかと思います。そしてこれからも、このインテグリティというものに興味を深め知っていく必要があると感じました。県内においても、より良いゲーム管理・運営のため宜しくお願い致します。

全国ミニバスケットボールに係わるすべての皆様に感謝しこれからもレフェリー活動に精進して行きたいと思っております。本当にありがとうございました。